

2020年6月2日

2020年3月期 決算説明会 質疑応答要旨

1. お客様の前田道路が前田建設工業の傘下に入ったことにより、日工との関係性がどのように変化していくのか伺いたい

→前田道路様が前田建設工業の傘下に入ったことによる影響は正直申し上げて、長期でどうなっていくのか不明なところがある。現在、新型コロナウイルスの関係により前田道路経営陣の方々とのコミュニケーションが取りづらい状況であり、直接話し合いが出来ていない。当社の営業からの情報では設備投資計画も変わりなく進捗しており、今期の状況に関しては大きな影響はないと考えている。長期的にはコミュニケーションを取りながら方針を確認し、対応していく。

2. APの margins を長期的にどのように改善していくのかを伺いたい

→APの margins 改善のため、当社では新しい機種の開発、モデルチェンジを進めている。3年前より、半分以上がリサイクル材を利用している現在の日本のアスファルト合材の状況に適した大幅なモデルチェンジを繰り返して行ってきた。さらに我々の生産性やコスト競争力を高めるために、製品自体の製造コストだけでなく現地の組み立てコストも重要視し、社内完成度を高めたユニット型の製品群に大きく舵取りを変えている最中である。競争力を高めたこれら製品群の採用率が大きく増えてくれば、当社の収益性に結びつく仕組みづくりを今進めている。

(注)本質疑応答要旨は決算説明会に参加されなかった方への情報提供も含めておこなっていますが、その内容につきましては理解し易いように一部で加筆・修正していますことをご承知おき下さい。

日工株式会社 財務部 IR 担当